

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

＜エントリーシート＞	部門 平成 30 年度 第 4 回中堅教員研修	学校名・氏名 鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 教諭 大重 嘉孝
※事務局記入欄		
No. : A - 16	活動名 効率的で安全な部活動運営～業務改善とリスクマネジメントから～	
課題の設定 :		
文科省の「学校における働き方改革に係る緊急対策」（以下、緊急対策）やスポーツ庁の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（同、ガイドライン）をもとに、視点Ⅰ「業務改善の一環として部活動をどのように効率的に運営するか」を設定した。また、リスクは不可避免的に存在することを踏まえつつ、安全性を確保しながら健全な成長を支えるリスクマネジメントの考えを取り入れた視点Ⅱ「部活動におけるリスクマネジメントをどのように実行すべきか」を設定し、この 2 つの視点から活動に取り組んだ。		
方針・計画 :		
部活動は学校教育の一環としての教育的意義が大きい一方で、適切な休養を伴わない過度な活動は、スポーツ障害の増加やバランスのとれた心身の成長の阻害、教員の業務負担増等にもつながる。部活動の在り方に関して速やかに見直しを行い、適正化を図ることが重要な課題であると考え、顧問を務める卓球部（部員数 53 人 顧問数 4 人）において、業務改善とリスクマネジメントの視点から実践や改善を推進した。その際、緊急対策やガイドライン、本校の部活動運営方針等に則った活動内容になるようにした。		
活動内容 :		
視点Ⅰ（業務改善）に基づき、次の 4 点の活動を行った。 ※各項目の右記はその具体的内容 (1) 卓球部運営方針の作成：運営方針を作成（明文化）することによる業務の明確化（資料 1） (2) 顧問等の役割分担の決定：顧問等の具体的な業務範囲（指導・支援内容）の策定（資料 2） (3) 練習計画表作成に係る協議：ガイドラインに基づき顧問で協議・調整した練習計画表（資料 3） (4) 部活動便りの発行：活動内容の充実や「開かれた部活動」等を目的とした部活動便りの発行（資料 4） 視点Ⅱ（リスクマネジメント）に基づき、次の 3 点の活動を行った。 ※同上 (1) 活動前の健康観察の実施：安全意識向上のための面談形式での健康観察（資料 5） (2) 卓球台運搬に関する安全学習会：危険体験等を基にした安全な運搬方法の習得（写真 1/資料 6） (3) 熱中症予防に関する安全学習会：生徒どうして考え議論する活動を通した熱中症対策（写真 2）		
活動の成果 :		
(1) 週当たり 2 日以上 の休養日が確実に定着した結果、昨年度と比較して休養日が大きく増加し、生徒や職員の心身に余裕が出てきた。（グラフ 1） (2) 例年のように発生していた骨折や重度な熱中症等の大きな事故等がなく、健康及び安全を意識した活動ができるようになった。（資料 5） (3) 練習計画表作成の過程で、業務改善や事故防止の視点から活動時間や内容の見直しを顧問どうして定期的に行うようになった。（資料 3） (4) 部活動便りの発行や保護者との定期連絡により、部活動運営への理解や協力が高まった。（資料 4）		
アピールポイント（アイデアや工夫） :		
(1) 年度当初にガイドラインの内容を生徒や保護者に説明し、理解や協力を得て活動に取り組んだこと。 (2) 顧問の業務範囲を明確にして、顧問の長所や得意領域を生かした指導・支援体制に変更したこと。 (3) 部活動便りを活用した安全学習会を定期的 to 実施し、家庭でもその内容を復習できるようにしたこと。 (4) 生徒の体験談や実演・実技等を取り入れた安全学習会をすることにより、安全意識の向上を図ったこと。 (5) 自主的に取り組める内容（理論・トレーニング）を部活動便りで紹介して時間の有効活用に努めたこと。		

【様式 1】

（資料 1）卓球部運営方針

- 1 生徒の健康と安全を最優先とし、過度な練習や日程等は組まない。また、下校時間を厳守する。
- 2 学校生活及び学業が重要であり、その延長線上に部活動があることを常に伝える。
- 3 自分自身で考えたプレーや行動をとり、互いに高め合うチーム作りを目指す。
- 4 保護者や後援会との緊密な連携を図り、事故等が発生した際は速やかに報告や説明等を行う。
- 5 顧問の健康や生活も大切にし、体調不良や所用・繁忙期には練習参加を顧問どうして分担・交代する。

（資料 3）練習計画表（調整段階）

卓球部 8 月練習・大会計画表（第 2 案 顧問用）				7 月 5 日現在		
日	練習時間帯	大会・練習内容等	学校行事等	顧問 A	顧問 B	顧問 C
1 月	13:00～16:00	基礎練習・課題練習	出校日	○	○	○
2 月	13:00～16:00	基礎練習・課題練習		○	○	○
3 月	8:00～11:00	基礎練習・課題練習		○	×	○
4 月	8:00～11:00	基礎練習・課題練習		○	○	×
5 月		（休業日）	吉野の日			
6 月	14:00～17:00	基礎練習・課題練習		×	○	○
7 月	8:00～11:00	基礎練習・課題練習				
8 月	13:00～16:00	基礎練習・課題練習				
9 月		（休業日）				
10 月		（休業日）				
11 月		（休業日）				
12 月		（休業日）				
13 月		（休業日）				
14 月		（休業日）				
15 月		（休業日）				
16 月		（休業日）				
17 月		（休業日）				
18 月		（休業日）				
19 月	13:00～16:00	課題練習・実践練習	親子奉仕作業	○	×	○
20 月	13:00～16:00	課題練習・実践練習		○	×	○
21 月	13:00～16:00	課題練習・実践練習	出校日	○	×	○
22 月	8:00～11:00	課題練習・実践練習		×	×	×
23 月	13:00～16:00	課題練習・実践練習		○	×	○

（資料 2）顧問等の役割分担

顧問等	主 な 分 担 内 容
A 男性	1 部活動全体の総括（総監督） 2 理論や技術の指導 3 メンタル面の強化
B 男性	1 健康・安全管理の責任 2 後援会や他校・協会との連携 3 文書作成や用具の管理
C 女性	1 顧問 A・B のサポート 2 女子部員の支援（相談窓口） 3 メンタル面のサポート
D 男性 （コーチ）	1 技術指導のサポート 2 ゲームアドバイザー登録 3 後援会への助言

（資料 4）部活動便り

卓球便り	平成 30 年 5 月 10 日 発行 吉野中学校卓球部 No. 3
＜ようこそ卓球部へ！＞ 先月までの仮入部期間を経て、たくさんの 1 年生（30 名 5 月 1 日現在）が卓球部に入部しました。ほとんどは卓球初心者とのことで、期待と不安でいっぱいようです。正式入部日となる 1 日には、前半は 1 年生組教室で部活動の意義や練習内容、道具等の購入に関するオリエンテーションを実施しました。後半からは体育館に移動し、ラケットの握り方やスイング等の基礎的な練習に早速取り組み、部活動終了の際のミーティングでは 2・3 年生部員との簡単な顔合せも行いました。新入部員は早く部活動のシステムに慣れるとともに、部全体で新入部員を温かく見守り、育てていく雰囲気をつくっていきましょう！	
＜会長杯（団体戦）結果から＞ 先月 30 日に行われた会長杯争奪卓球大会（会長杯）は、成果と課題の入り混じるものとなりました。成果の一つとしては、男子もチームが市内の強豪チームの一つである西葉原中に対して互角の戦いができたことが挙げられると思います。課題としては、種々のゲーム（デュースやファイナル等）を見ミスで落してしまうことあったことです。また、大会前の台打ち練習に自分から積極的に参加できず、ただ観ているだけの姿もありました。個人やチームの課題を一つでも多くクリアーできるようにしていくことが、今後の練習に求められています。試合の待ち時間中には、日本ランキングでベスト 16 位に入る実業団選手（経部選手や徳水選手等）の試合観戦もでき、ボールやゲーム展開の速さ、無駄のない動きなど一流のプレーにふれる機会もありました。	

（資料 5）観察内容

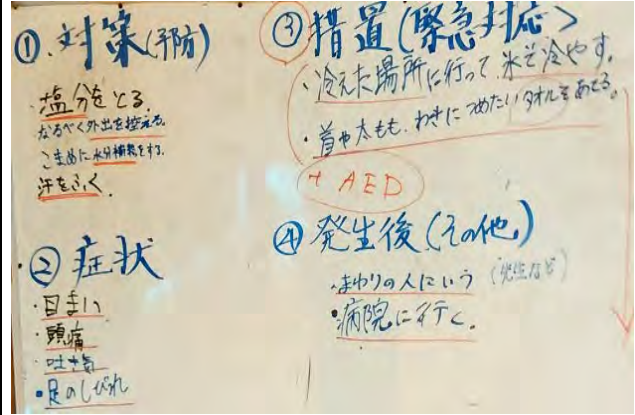
- 1 睡眠時間は十分とれたか。
- 2 食事をとったか。
- 3 熱や頭痛、体調不良等ないか。
- 4 水分補給をしたか。
- 5 医師や保護者からの指示はないか。



（資料 6）卓球台の安全な運搬方法

- 1 台の移動・設置は 2 人以上で行い、協力して行う。
- 2 移動中に台に乗ったり寄りかかったりしない。
- 3 設置時は台の脚がどこにあり、どこに置くか確認する。
- 4 台を移動する際は、無理に押ししたり引いたりしない。
- 5 設置後は台の脚が不安定になっていないか確認する。
- 6 設置した台に手をついたり座ったりしない。
- 7 危険箇所に気づいた時は、すぐに顧問に連絡をする。

（写真 2）生徒から出された熱中症対策等



（グラフ 1）

